

齋藤茂吉全集

第三十卷

齊藤茂吉全集

第三十卷

第十六回配本（全三十六卷）

齋藤茂吉全集 第三十卷

定價 千六百圓

昭和四十九年四月十三日 發行

著者 齋藤 茂吉

發行者 岩波 雄二郎

東京都千代田區一ツ橋二丁目五番五號

株式會社 岩波書店

印刷・精興社 製本・牧製本

落丁本・亂丁本はお取替いたします

日記
二

目次

昭和六年	一
昭和七年	二三
昭和八年	三七
昭和九年	三六
昭和十年	四三
昭和十一年	五四
昭和十二年	六〇
後記	七五

昭和六年 辛未

一月一日 木曜日、クモリ。雪降ル。

朝起キテ、新年ヲ賀ス。分院一同ニ屠蘇ヲノマシム、ソレヨリ本院ニ行キテ年賀シ、病室ヲ廻診ス。山口君同道ナリ。午食ヲもちニシテ、ソレヨリ平福先生、ソレヨリ明治神宮、雪大ニ降り來ル。岡先生ニマハリテ、ソレヨリ家ニカヘル。雪ツモル。夜、靜居讀書、

一月二日 金曜日、天氣吉、

家ニ靜居ス。午前ニ往診アリタレドモコトワリタリ。夕方ニナリテ大森ニ往診アリ、思ヒキリテ出カケタリ。腦溢血ノ五十三歳男ナリキ。夜カヘリテ、心シヅカニ唐詩等ヲ讀ム。

一月三日 土曜日、天氣吉。

午前中イマダ仕度セザルニ岡麓先生來訪セラル。一時間バカリ居ラレタリ。午後ニナリテ山口君、佐藤二君來リタルニヨリ、三人ニテ神田ニ行キテ古本ヲ買フ。氣持落付キ大ニ樂シ。今日島信（参）二氏來ル。夜ニナリテ大阪ノ岡田眞君上京セリト云フ。アララギ發行所ニヤドル。

一月四日 日曜日、天氣吉。

朝、岡田眞君來リ、土屋文明氏ヲ訪ヒ三人シテ神田ノ古本屋、本郷ノ古本屋ヲ訪ヒ、ソレヨリ淺草ニ行キ、松竹座ト、人間大砲「カアル、ライネルト」ノ業ヲ見タ。ソレヨリ地下鐵道ニノリテ神田ニ來リ。あんこうナベヲ食フ。ソレヨリ銀座ニ來リソレヨリ青山ニカヘリタリ。

一月五日 月曜。天氣清。暖シ。

朝、山口、柴生田、岡田君三君トアフ。西洋來ル。田鶴ノ件、西洋ノ件。平河町ノ公莊氏ノタメニ牛島ト云フ看護婦ヲツカハス。一人ダメニスル。ソレヨリ銀座マデ自動車(60錢)ニ乘リ、ソレヨリ散步ス。資生堂^(原)啡咖ノム。松坂屋ニ寄リ。三越ニ寄リ。「花むら」ニテ夕食ス。柴生田君ト神田ニ來リ書物ヲ買フ。山口君ト岡田君ハ青山ニカヘリ岡田君ハ夜ノ8時半ノ東京驛發ニテカヘル。

一月六日 火曜。ミゾレ。寒雨。

外來診察、患者一人。^{〔四字削除〕}□□□□來ル、Selbstbetiedigungノ話ヲナセリ。岩波ノ長田秀雄氏^{〔替〕}來ル。入浴。臥床。蘇東坡詩集ヲヨム。夜、山口君一寸來ル。ソレヨリマタ蘇東坡詩集ヲ讀ム。「寫生」ノ語補遺ヲ考ヘツク。

一月七日 水曜日。雨、

午前中診察ニ從。杉浦非水氏。公莊氏來ル。板坂龜尾君ト警視廳ニ年賀ニ行ク。丸ビルニテ午餐。本院ニ行ク。輝子近藤氏ト芝居ニ行ク。夜、唐詩ヲ閱ス。

一月八日 木曜日。雪大ニ降ル。

午前一寸大工ヲ監督シ。漢書ニ字ヲ書キ。漢詩ノ書ヲヨム。夜ハ山口君ノ處ニ行キテアラギ選歌ト、今井邦子サンノ歌集ノ選ヲナス。夜ノ十二時ニ寐タリ。

一月九日 金曜日、雪ノチ雨フル。

午前中診察ニ從事ス。改造社ノ高平君來ル。辯護士竹内氏來ル。午後高田浪吉君年賀ニ來ル。一寸午睡ス。今井邦子サンノ歌集ヲ選シ、ノチ、珈琲ヲノミ大ニ勉強シテ又、築地藤子サンノ歌集ヲモ閱ス。

一月十日 土曜日。寒氣強シ。

風呂立ツ、午前中漢書ヲ見。築地サンノ歌稿ノ選ヲナス。夜ハ、照子、誠二郎、隆一三人シテ病魔ノ語ヲサガス。本棚ニ書籍ヲツム。

一月十一日 日曜日。寒氣強シ、

家ニアリテ漢書ヲ見ル、モノ憂シ。輝子茂太食事ニ行ク。大工ヲ催促ス。一時間午睡ス。古今書

院主人來ル。談話約一時間半。親交會ノ新年會アリシガ_二圓寄附、一寸カホ出ス。夜ハ山口茂吉君ノ處ニ集マリ。山口、佐藤、堀内、柴生田君集マル。築地氏ノ歌ヲ見ル。

一月十二日 月曜日、寒氣稍ユルム。

午前中、渡邊幸造君ヨリ電話アリ、ノチ、渡邊君ノ次男ヨリ電話アリ。一應ユトワル。午後一寸本院ニ行ク。本棚一組出來ル。夜、アララギ發行所ニテ左千夫合評ヲナス。風呂ニ行ク。鷗外ノ全集「兵論」ヲ讀ム。出羽嶽勝ッ。築地氏ノ歌ヲ閱ス。午後九時、大槻如電翁歿、腎臟病。行年_三八歳。

一月十三日 火曜日。天氣吉。

大工ト談合。二六新聞社員來ル。二十圓ノ廣告ヲタノム。市來崎少將來ル。藤森君來ル。早稻田大學ノ相原來ル。本院ノ坂_坂。風呂ニ入り。午睡。出羽嶽太郎山ニ負ク。夜ニナリテ作歌隨筆等。

一月十四日 水曜日。天氣吉。

午前中診察ニ從事ス。稅務所吏員、木村好實氏、_原市外和田堀町和泉_堀ニ_二午後本院ニ行キ。總廻診ヲナス。看板ヲカク、夜ハ明治屋_堀ノ勘也會ニ行ク。結城素明畫伯世話人ナリ。母、中澤ノ老母モ同道ナリ。

一月十五日 木曜日。天氣吉。

午前中ニ影山氏來ル。竹内靜三氏ト落合ヒ幸樂ニテ午食シ、ソレヨリ國技館ニテ相撲ヲミル。夜、豐田屋ニテ出羽ヶ嶽ニ猪肉ヲ御馳走ス。彼ノ臆病ヲ叱シタルニ彼ハ殘念ガリテ泣ク。ヤウヤクキゲンヲ取リナホス。自動車ニテカヘル。

一月十六日 金曜日。天氣吉。

午前中診察ニ從事ス。杉浦翠子來ル。實業世界記者ノ廣告人來ル。中村憲吉君午前十時東京驛ニ著ス。輝子、山口君ムカヒニ行ク。午後、九段坂病院ニ往診ス。入浴。夜、岡先生宅ニマキル。風邪氣味ナリ。輝子日比谷公會堂ノ音樂會

一月十七日 土曜、天氣吉、ヤ、暖、

午前中、中村君理髮店ニ行ク。加納小郭家來ル。細君同道ナリ。今回ニタビ臺灣ニワタルトゾ。輝子、だいやヲ ∞ 千 ∞ 百圓ニテ買フ約束ス。午後二時ヨリ百穗畫伯、中村君、土屋君等ト上野韻松亭ニ百穗畫伯歡迎會ニ出席ス。輝子築地小劇場。(輝子ダイヤモンドヲ買フ約束ス 3800 y)

一月十八日 日曜日。天氣吉。

午前中一時間寐。中村君アラギ選歌ス。輝子茂太活動夕食ニ行ク。古今書院來訪。夕方ヨリ東京會館ニ赤坂區醫師會ニ出席ス。青山署長トモアフ。アラギ編輯會。高田浪吉例ニヨリテ沈黙

シ、僕ニ禮モセズ。平福畫伯モ來ラル。

一月十九日 月曜日、暖シ、天氣吉。

午前中、中村君ニ揮毫ヲ願フ。午食後結城哀草果、岡部實城君等來ル。輝子ト四人ニテ三越ニ來ル。阿部ト云フ青年ト禮ヲナス。輝子ハ近藤夫人ト市村座ニ行ク。南陽堂ニテ「佛教大辭彙」百圓ニテ買フ。赤坂山王ヲ結城君ト散步ス。幸樂ニテ百穗先生歡迎會。

一月二十日 火曜日、天氣吉。暖。

午前中診察、新患二名。佛教辭彙100圓ニテ買フ。午后午睡。田中克三氏來ル。樗牛ノ一人娘はつ子女史(三十二歲)ニテ歿。病身ノタメニ婚セズ。樗牛ノ死去直前ニ生レタモノデアルト云フ。日本橋ノ仙月ト云フ處ニテ古今書院主催ニテ中村、平福、僕會合ス。

一月二十一日 水曜日、天氣吉、

午前診察。午後本院ニ行ク。夕方ニ至リ風呂ニ入ル。中村君來リ、山口茂吉君佐藤佐太郎君來ル。結城君一泊ス。中村君ハ丸の内ホテルニ來宿ス、

一月二十二日 木曜日、天氣可。中村君退京

午前中結城君ト話ス、午後、守谷、結城ト日本橋美術俱樂部ニ行キ梧竹翁書帖ヲ30圓ニ入札ス、

ソレヨリ山口君ヲ訪ヒ丸ビルヲ見物ス。ソレヨリ丸の内ホテルニ中村君ヲ訪ヒ、岩波書店ニ行キ、中村、僕、岩波ノ三人、末初ニテ夕食ス。僕ハ肉ヲバ多食セズ、中村君九時⁵⁵分ニテ退京。平福、岩波、僕ト瀟々園（山田順子ノ「彼女」ニ行ク、アー、サイトウモキチサンデスカ。飛行機ノプロペラガデセウ、スラリトシタキレーナ奥サンヲオモチノ方デセウ」手ナドニギル女ナリ。

一月二十三日 金曜日、天氣吉、

午前中診察ニ従事ス。午後一寸勉強シ、墓地下ニ往診ス。（九段坂病院ノ往診休ミ）夜ハ醫師會（丸子園）十時スギニカヘル。少シク短冊ノ字ナドヲ見ナガラ寐タリ。

一月二十四日 土曜日、

影山氏來リ、明日小島政五郎氏ニ會フカラ、大體ノ意見ヲキ、タイトノ事ナリ。ソコデ土地ヲモラウコトヲ話ス。昌子風邪氣味ナリ。百子メンタルテスト。タヨリ輝子ト銀座ノ三越ヲ經テ、演舞場ニ行キテ五郎劇ヲ見ル。近藤夫人ト一シヨナリ。（四時開場）釋迢空、辰野保氏等ト會フ。

一月二十五日 日曜日。天氣吉。寒。

昌子發熱ス。尿ノ蛋白増加ノ氣味アリ。午前中臥床。森本富士雄君ヨリ電話アリ。千葉縣ノ俳人、茶樂タヅネ來ル、カヘス。宗吉キカヌ故ナグル。文一郎少佐來ル。午後ヨリ夜ニカケテアララギ發行所ニテ面會日ナリ。哀草果、山口、佐藤ノ三人ハ鎌倉江ノ島ニ行ク。

一月二十六日 月曜日、クモリ。霧。ハレ。夜、強風。

午前ニ相原常治來リ。丸ビル四階ノ滿鐵支社ノ調査部ノ佐藤長次郎氏ヲ訪ヒ、紹介狀ヲモラヒテ庶務課長(平山氏)ニアヒ、頼ミタリ、丸ビルノ書畫展覽會ヲ見、三越ニ行キ。日本橋美術俱樂部ニ行キテ中林梧竹翁ノ書冊三十二圓ニテ落札ス。コレハ、本所區太平町一田中次郎(三圓)牛込區谷町三五佐藤正一(三圓五〇)一圓ノ差ニテ予ニオチタリ。白木屋ニテ午食ス。歸リ來リ一寸午睡ス。昌子ヤ、ヨシ。百子メンタルテストハ荻野氏來ル。本ヲ少シク片付ク、夜、作歌二首。ウイスキー不飲。○影山氏來リ小島政五郎第一回會見ヲ報告ス。

一月二十七日 火曜日。強風。天氣吉。

午前中診察。四人。キングニ三枚。ハガキ、手紙ヲ五六通書ク。大工ハ診察所ノ棚ツクル。午後紹介患者(婦人科、小川氏)二十五日^原ヲひげ天(高島屋ノ向ノ横丁ひげノ天平)ニテ開ク、會者十四名ソレヨリ吉原ヲ散策ス。十一時ニ歸宅シ、ウイスキー一杯ノミテ寐ル。結城哀草果トマル。荻野夫人百子ノタメニ三日間來リ教フ。

一月二十八日 水曜日、天氣吉

午前中診察ニ從事ス。百子試驗第一日、午後本院ニ行ク、醫員合衆ノ話アリ。夜、岩倉具正君來ル。哀草果モ本院ニ行ク。

一月二十九日 木曜日、天氣吉、

百子試驗第二日、午前家居。午後午睡。夜、帝劇「サカロフ」氏ノ舞踊ニ輝子、哀草果ノ三人ニテ行ク。輝子ハ近藤、長谷川夫人ト同道ナリ。カヘリ來リテ哀草果トマル。哀草果ハ明日今井邦子サンノ處ニ招ガレタリ。

一月三十日 金曜、天氣吉、寒シ、輝子横濱ニ地代キヨウタクニ行

午前中診察ニ從事ス、相當ノ患者アリ、杉浦非水氏等モ來ル。午後ハ九段坂病院ニ行ク、風氣味ニテシキリニネムリヲ催ス。夜ハ六時ヨリ赤阪^坂鳴門ニテ植松君ノ御馳走ニナル。金子準二氏合客ナリ。藝者、月の舍ノ月福ト云フ娘トモウ一人大阪^原辨ノモノ來ル。

一月三十一日 土曜日。天氣吉、風邪氣味

朝ヨリ風邪氣味ナレドモ端座シテ文學時代ノタメニ「類句」ト云フ雜文五枚ヲカキ、午後一寸午睡シ、入浴シ。夜ハ速記ヲ直シタリシテ大ニ勉強ス。

二月一日 日曜、クモリ、後雨、

岩波氏ニ呼バレ百穗晝伯ト熱海ニ行ク約束アリ、午前九時マデニ東京驛ニ集マル約束ノ處、風邪ノタメニ缺席。終日臥床。熱。身體イタム。茂太輝子一寸出ル、茂太^原ラクビー。○荏原郡醫師會

ハ青木ニタノム。

二月二日 月曜、クモリ。

終日臥床。大便ニ起ク、輝子看病、家居、

二月三日 火曜、クモリ、

診察ヲ青木ニタノム。終日臥床。書物ノ部屋ニ紙帳ヲハリ、アタタム。○三宅先生西洋ノコトヲ
キシシト云フ、

二月四日 水曜、クモリ。小雨、節分

診察青木ニタノム。臥床。歌稿（八木沼氏、石川氏）ヲ勉強シテ返送ス。腹痛アリ。アタタム。
輝子近藤夫人ト五郎劇。百穂先生ヨリ西洋ノ土産イタダク。豆マキハ百子、宗吉ニタノム。地震
二回

二月五日 木曜日、小雨クモリ。

瀬谷銀行裁判、輝子出席ス。竹内辯護士ハ小島政五郎氏ト影山文作、向ウノ辯護士ト午食ノ會食
スルト云フ。次回ハ二月十九日判決。○今日ハ家ニアリテ朝鮮ニテ講演シタル速記ヲ訂正ス。

昭和六年

二月六日 金曜日、クモリ。

〔四字削除〕

午前中青木ニ診察ヲタノム、□□□□氏來リ、脊髓液ヲ採リ、ワツセルマン反應検査陰性ナリ。

午後ヨリ平福、門間洗邦君來ル。夜、結城、山口君ト語ル、

二月七日 土曜日、クモリ。

結城君ト丸ビルニ行キ晝ノセリ賣ヲ見ル、山口君トアフ。午食、散歩、帝劇ニシラノノ芝居ヲ見ル。

二月八日 日曜日、天氣吉、

午後、四谷ノ能樂堂ニ柿内三郎教授ノ父君ノ十三回忌追善能ヲ見ル。夜、アララギ會ニ一寸出席ス。百穗畫伯ニ御馳走ニナル(三丁目大和軒)

二月九日 月曜日、クモリ、夜雪降ル。

午前中臥床ス。午後、結城君ト平福畫伯ヲ訪フ。筆記ニ土屋君來訪。スキ焼ノ御馳走ニナル。

120 圓 宗

100 圓 大成氏分(小生タテカヘ)

100 圓 爲助分(小生タテカヘ)

哀草果トマル。

二月十日 火曜。雪大ニ降ル。

竹内辯護士來ルワケナルガヤ、オクレタリ。杉浦翠子來ル。茅野昌子氏〔雅〕來リ野田夫人ノコトニツキテ來訪スル。竹内氏云ク、謝禮（辯護料ハハンケツ前ニキメテオキマセウカ云々、コレガ主眼ラシカツタ 夜山口君ノ處ニ行キテ一氣呵成ニアララギノ選歌ヲナシテハ時半ニテ大體完成シタリ

二月十一日 水曜日、雪降ル。紀元節、

午前中診察ニ從事スル。藤森朋夫來ル。午後本院ニ行キ總廻診ヲナス。マツサージヲナス。夜、山口君ノ處ニテ佐藤、柴生田、山口君等ノ選歌ヲナス。哀草果横濱ニ行ク。

二月十二日 木曜日。晴天、哀草果カヘル。

哀草果ト別ル。午后土屋君ノ處ニ一寸ヨリ。神田ノ古本店ニテマルクス主義ノ本ナドヨム。アケガラス敏ノ説教キクツモリノ處オソクナリテ牛肉ヲクヒカヘル。午前、佐々木信綱氏ノタメニ校本萬葉ノ推セン文ヲカク。岩波書店ニ寄ル。

二月十三日 金曜、雪大ニ降ル。

午前中診察ニ從事ス。宇野氏注射第三回、渡邊氏歌ヲ見テモラヒニ來ル。母上志村氏方ノ葬式ニ